

# 女性と男性の「あたりまえ」をうたがってみよう!



そこが知りたい!  
なるほどうちな~ニュース  
「国際女性デー」  
偏見や差別ない社会に

3月8日は「国際女性デー」。女性への差別や偏見のない社会を目指して力を合わせる国際的な記念日です。私たちの社会でも、女性に家事や子育ての負担が過重にかかっており、政治や経済の分野で活躍しにくい現状があり

ます。また「女性」と一言でいっても多様です。誰もが自分らしく生きることができたらすてきですね。

しかし、私たちは生まれた時に女と男に分けられ、役割や特徴を決めつけられることが多くあります。当てはま

らない人も多いのに、どうして2つに分けちゃうんだろう。

性別に関わる「どうして?」を、「ジェンダー」(社会的につくられた性差)について研究する玉城福子さんに聞きました。(2面に続く、16面に関連)

# 「女らしさ」「男らしさ」 って何だろう

いってて！ 転んで膝をすりむいちゃった。でも男の子だから泣かないりゅう。うぐぐう。

どうして男の子は泣いちゃいけないって思うの？

男の子が泣くのは男らしくないと思うんだ。

男の子も女の子も、誰でもつらい時や悲しい時には泣いていいよ。弱音や助けてって言えないのって苦しいさーね。「男らしさ」に縛られて自分のつらさを表現できないことと男性の自殺率の高さは関係があると言われてるよ。

男の子も泣いていいんだね。痛いよ、うええん。

伝えてくれてにふえーでーびる。ばんそうこう、どうぞ。

グスン、ありがとう。でも、どうして「泣くのは男らしくない」って思っちゃうんだらう？

現在、私たちの社会では、赤ちゃんが生まれると、お医者さんが外性器を見て女と男に振り分ける。でも実際には男と女の中にもいろんな体があるし、生まれた時に割り振られた性別と自分が感じる性別が同じではない人もあるよ。私たちは一人一人違うのに、2つの性別に分けられて、「男」や「女」という「ラベル」を貼り付けられる。生まれた時から大人になっても、家族や友だち、社会の中で「女らしくあること」や「男らしくあること」を期待されたり、評価されたりするよね。そこからはみ出すと怒られたり、からかわれたりすることで私たちは「女」や「男」になっていくんだ。このように社会的につくられた性差を「ジェンダー」っていうよ。

「男らしさ」や「女らしさ」って悪いものなの？

例えば「つらい時も泣かない人になりたい」という理想があることや、「ロングヘアが好き」と感じることは悪いことじゃな

い。でも「男は泣くな」「女はロングヘアだ」と性別で行動や服装、髪型を押し付けるのは私は良くないと思う。大切なのは自分らしくいられること、やりたいことをやれること。「男らしさ」や「女らしさ」の固定観念が可能性をつぶすことがある。

実はロングヘアに憧れてるんだけど男の子だからおかしかなって思った。

きっと似合うよ！ 私は丸刈りにしたことがあるんだけど、美容室でカットを断られたり、女子トイレに入ろうとして止められたりしたことがあったなー。

性別で「こうあるべき」と決められて、やりたいことをあきらめたり自分らしくいられずに傷ついたりするのって嫌だな。でも「嫌だ」って感じた時はどうしたらいいんだらう。そう感じているのは自分だけかもしれないし、おかしって思われたらどうしよう。

嫌な気持ちになった時は「嫌だ」と言っていんだよ。自分の気持ちを表明するのは私たちの権利なんだ。それにそう感じているのは自分だけじゃないかもしれない。気持ちを共有して仲間を増やすことも状況を変える力になる。相手に直接言えない時や困った時は信頼する人や子どもも相談できるサポート機関に連絡する方法もあるよ。

一人で気持ちを押し殺さなくてもいいんだね。

もし自分のしたことで相手から「嫌だ」と言われた時には、理解や共感ができなくてもやめることが大切だよ。気持ちを伝えることや変わることって簡単ではないよね。勇気を出して声を上げてくれた人、その声に耳を傾けて力を合わせて行動した人の存在が社会を変えてきた。共により良い社会をつくってこう。

**ふくちゃん(玉城福子さん)**  
ジェンダー論などを研究。大学でも教えているよ。パンセクシュアル(全性愛者)と呼ばれる性的マイノリティーで、女性パートナーと幸せに暮らしている♪好きな食べ物はみかん!

性別による偏見や差別に対して勇気を出して声を上げ、多くの人が力を合わせて行動したことで社会は変化してきました。性差別に関する最近のニュースや声を上げる人々の行動を紹介します。



## 男女格差報告で日本121位

スイスの研究機関「世界経済フォーラム」が発表する「ジェンダーギャップ指数」。2019年、日本の順位は世界153カ国中121位。特に経済と政治の分野で男女の不平等が目立つ結果でした。



1位	アイスランド
2位	ノルウェー
3位	フィンランド
10位	ドイツ
53位	米国
106位	中国
108位	韓国
121位	日本
153位	イエメン

2019年男女格差報告の主な順位

先進国7カ国の中で最下位

発足時の菅義偉首相率いる内閣の顔ぶれ。女性閣僚は2人にとどまった=2020年9月16日

## 「#Me Too」運動

性暴力の被害者の声がつぶされてしまう状況が続く中、SNSで「#Me Too」というハッシュタグをつけて性暴力被害を告白する動きが世界中で広がりました。被害者の勇気ある訴えに多くの人々が共感し、共に声を上げることで、「性暴力は許さない」という意識が高まりました。



セクハラや性的暴行に抗議し、デモ行進する人たち=2017年、米ロサンゼルス(ロイター=共同)

## 医大で女子受験者の得点を減点

2018年、東京医科大学の医学部の一般入試で女子受験者の得点を一律に減点する不正があったことが判明。理由は「女性は結婚や出産で職場を離れるケースが多いので医師不足を解消するため」でした。女性らが怒りの声を上げ、調査が行われたことで、翌年の合格率は男女でほぼ一致しました。



東京医科大学前で抗議する女性ら=2018年8月、東京都

## 性差別発言でオリンピック組織委員会の会長が辞任

今年2月、東京五輪・パラリンピック組織委員会会長の森喜朗さん(83)が「女性がたくさん入っている理事会は時間がかかる」などと発言。スポーツの世界で男女平等を目指す立場の森さんが女性を差別する発言をしたことで、国内外から厳しい批判が集まり、会長辞任に追い込まれました。

東京五輪・パラリンピック組織委員会の会長を辞任した森喜朗さん

